

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	ユニバーサルツーリズム促進事業		<b>担当部局</b>	観光庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H24/H24		<b>担当課室</b>	観光産業課		課長 鶴田浩久		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	20 観光立国を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	観光立国推進基本法第21条		<b>関係する計画、 通知等</b>	観光立国推進基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	移動制約者の社会参加の拡大が望まれ、また、少子高齢化社会が進んでいるなかで、移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進め、国内観光旅行の促進を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進めるため、ユニバーサルツーリズムの先進事例のモデル化や、移動制約者のニーズを踏まえた観光地のユニバーサルツーリズムの旅行環境改善を行うことで地域の自治体やNPO法人の取り組みを側面支援する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	19	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)	
	国内観光旅行における 国民一人当たり年間宿泊数		成果実績	泊	2.36	2.56	集計中	4
	国内における観光旅行消費額 <small>本目標を設定している観光立国推進基本計画は現在見直しの作業中であり、新たな目標が決まり次第更新する。</small>		達成度	%	59%	64%	-	-
			成果実績	兆円	23.6	22.1	作業中	30
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ユニバーサルツーリズムの先進事例の評価・分析・モデル化をする箇所数		活動実績 (当初見込)	箇所			( )	( )
	ユニバーサルツーリズムの旅行環境改善に向けた問題点のとりまとめをする観光地数		活動実績 (当初見込)	箇所			( )	( )
<b>単位当たり コスト</b>	1.9(百万円/箇所)		算出根拠	概算要求額 ÷ (先進事例の評価・分析・モデル化をする箇所数 + 問題点のとりまとめをする観光地数) 19百万円 ÷ (5箇所 + 5箇所) = 1.9百万円				
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		0					
	観光振興調査費		18					
	計			19				

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか		
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>【過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】  国が誘導することにより均一化を招く恐れがあるのではないかと指摘があったことから、本事業においては、国はユニバーサルツーリズムの取組方策を示すにとどめ、自治体やNPO法人が各地域において具体的な取組みを工夫し、実施することとしている。</p> <p>【事業の成果目標が立てられているか、また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか(費用対効果、投資効果等)、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】  成果目標については、目標を設定している観光立国推進基本計画が現在見直しの作業中であることから、22年度の目標値としているが、新たな目標が決まり次第更新する。事業効果については、ユニバーサルツーリズムの先進事例のモデル化、移動制約者のニーズを踏まえた観光地の旅行環境の改善及び他の観光地への展開により、ユニバーサルツーリズムの旅行環境が改善し、移動制約者の旅行の機会が拡大することから、国内観光旅行における国民一人当たり年間宿泊数及び国内における観光旅行消費額が増加し、また、自治体やNPO法人の取組みに助成金を支給すると、多額の費用が必要であるうえ、各々の取組みによる知見が当該観光地にとどまることから、費用や知見の拡大の観点から効率的である本事業を実施する。</p> <p>【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに応えるものとなっているか(事業の目的の妥当性や緊急性、国民のニーズのすくいあげ方等)】  移動制約者の社会参加の拡大が望まれ、また、少子高齢化社会が進んでいることから、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進め、国内観光旅行を促進する本事業は、広く国民のニーズに応えるものである。</p> <p>【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッション(任務)なのか】  本事業は、福祉施策の側面もあるが、移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進め、国内観光旅行の促進を図るものであることから、観光庁のミッションである。</p>			
	<b>予算監視・効率化チームの所見</b>			
	-	事業所管部局による点検がおおむね適切に行われており、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。		
	<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b>			
-				
<b>補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b>				
-				